

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27008

学校名：八軒小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 <男子>	○前回の記録と同程度か上回った種目 握力 上体起こし 長座体前屈 立ち幅跳び	○前回の記録を下回った種目 反復横跳び 20mシャトルラン 50m走 ソフトボール投げ	・昨年度の記録より下回る種目が多かった。長座体前屈においては、昨年度の結果を大きく上回った。立ち幅跳び、長座体前屈が全国平均を上回った。
体力・運動能力 <女子>	○前回の記録と同程度か上回った種目 長座体前屈 反復横跳び 立ち幅跳び ソフトボール投げ	○前回の記録を下回った種目 握力 上体起こし 20mシャトルラン 50m走	・長座体前屈、立ち幅跳びは全国平均より上回った。シャトルランは、男子と共に全国平均より大きく下回ったので、持久力に課題が残る結果となった。
運動・スポーツへの意識 運動習慣	・「体育の時間を除く1週間の総運動時間」 R7 男子：582時間 女子：433.1時間	・「睡眠時間が8時間以上」と回答した割合 R7 男子：91.8% 女子：80.7%	・男女とも「1週間の総運動時間」が全国より大きく上回っている。また、睡眠時間が保障されている児童が多い。健康の保持増進のためにも体を動かす場と時間を継続して設定する必要がある。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
--------------	------------------------	------------------------------	----------------------------

具体的な取組

- ・「問い」を大切にした学習の推進
- ・ICTを活用した学習の推進
- ・問題解決と意欲喚起をねらった「問い」の工夫を図る。
- ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるように必要な動きや技能を高める授業の充実を図る。タブレットで動きを撮影して確認するなどICTを積極的に活用する。
- ・個人の技能に合わせて目標を設定し、その目標を達成できるように、ワークシート等を活用していく。
- ・鉄棒週間や跳び箱週間等を生かし、授業と休み時間を接続し、運動の充実を図る。

- ・本校の伝統「縄チャレ」の充実
- ・グラウンド、多目的室などの「場の工夫」と休み時間を活用した「時の工夫」
- ・毎月学年ごとに取り組む「縄チャレ」。持久跳びと技のチャレンジを毎月交互に取り組んでいくことで持久力の向上と運動の楽しさを感じることができるようにする。また、個人で目標タイムを設定し、達成者をクラスルームで紹介することで、意欲の喚起を図る。
- ・雨天や冬季に多目的室を活用して、縄跳びができる場や時を工夫する。
- ・体育委員会による運動イベントの開催。
- ・「スキー」「汗かき雪かきチャレンジ」「雪遊びチャレンジ」など冬季間の体力づくりの推進。

- ・「学校保健計画」を生かした健康教育の推進
- ・健康三原則「運動」「食事」「睡眠」の大切さを家庭へ啓発し、学校と家庭が協力して望ましい生活習慣の定着を図る
- ・「食に関する指導計画」を常に見直し、充実を図る。
- ・養護教諭や栄養教諭による指導の場を設定する。
- ・性に関する指導の見直しと充実を図る。
- ・「問い」を大切にした保健の授業の充実を図る。
- ・6年生で「薬物乱用防止教室」を行い、自分の体を大切にする意識を高める。

家庭・地域との連携・協働

- ・タグラグビーや水泳指導、スキー指導などを外部のインストラクターに依頼
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査と体力テスト結果などの活用
- ・児童アンケート・保護者アンケートなどの活用